

株主・投資家のために

適切な利益還元と誠実な情報開示を通して、株主・投資家の皆さまへの責任を果たしていきます。

株主還元の基本方針

富士通は、財務体質の強化および業績の中長期的な業績向上を見据えた積極的な事業展開に備えるために内部留保を充実しつつ、株主の皆さまに安定的に利益還元していくことを基本方針としています。

2004年度は、配当金を1株あたり3円増配し、年間6円を計画しています。

情報開示に関する基本方針

富士通は、株主や投資家、証券アナリストへの適時・適切な会社情報の開示が健全な証券市場の根幹を成すとの認識に立って、証券取引法や上場している証券取引所の適時開示規則に則って情報を開示しています。また、規則に該当しない場合や会社にとって不利な情報であっても、投資判断に関わると判断した情報については、迅速、正確かつ公平な開示に努めることを基本方針としています。

株主総会の開催

富士通は、できるだけ多くの株主の皆さまに株主総会に出席いただくために、総会集中日を避けるなど開催日程の工夫をしています。また、海外の株主に配慮して、招集通知の早期発送(約3週間前)、英文の招集通知の発送なども実行しています。

また、2002年度の株主総会から、インターネットを用いた議決権行使の方法を導入しています。

株主・投資家とのコミュニケーション

富士通は、機関投資家・証券アナリスト向けの説明会、個別取材への対応や国内外の投資家訪問、FUJITSUホームページによる情報発信など、国内外でのIR活動を通じて、フェア・ディスクロージャーに努めています。

また、プレスリリースを行い、マスコミを通じた個人投資家や社会への情報伝達にも努めています。

各種ミーティングを開催

国内の機関投資家や証券アナリストの皆さまに対して、決算説明会のほか、経営方針説明会や事業説明会を開催しています。

これらの説明会、ミーティングでは、社長が経営全般、担当役員が数字を含めた経営状況、各ビジネスグループ長が具体的な戦略、執行役員が現場の状況、というように経営陣が直接説明しています。また、こうしたミーティングのほか、随時、スモールミーティングや1対1の個別取材にも積極的に対応しています。



経営方針説明会



事業説明会

海外の機関投資家の皆さまに対しては、年2回、欧州と北米で海外ロードショーを行うほか、当地のスタッフが投資家に対する個別訪問を行っています。また、毎年、「アニュアルレポート」を発行するとともに、FUJITSUホームページを通じて、主要なプレスリリースについては日本語と同時に英語でのリリースを行うことを原則とするなど、国内と同様の情報提供に努めています。

個人の株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション

個人の株主・投資家の皆さまに対しては、中間決算時、本決算時に「中間報告書」「事業報告書」を送付するほか、FUJITSUホームページにおいてアナリスト向け説明会で用いたIR資料や決算発表会の資料・映像などをPDFファイルやストリーミング技術を用いて迅速に公開しています。また、FUJITSUホームページにお問い合わせフォームを掲載し、双方向のコミュニケーションに努めています。

さらに、2004年度からは、富士通という企業をより具体的に理解いただくために、個人株主の皆さまを「富士通フォーラム」に招待しています。

富士通フォーラム

社内外の有識者による講演・セミナーのほか、お客様のさまざまな課題解決に対応する最新のソリューションを紹介する展示会。